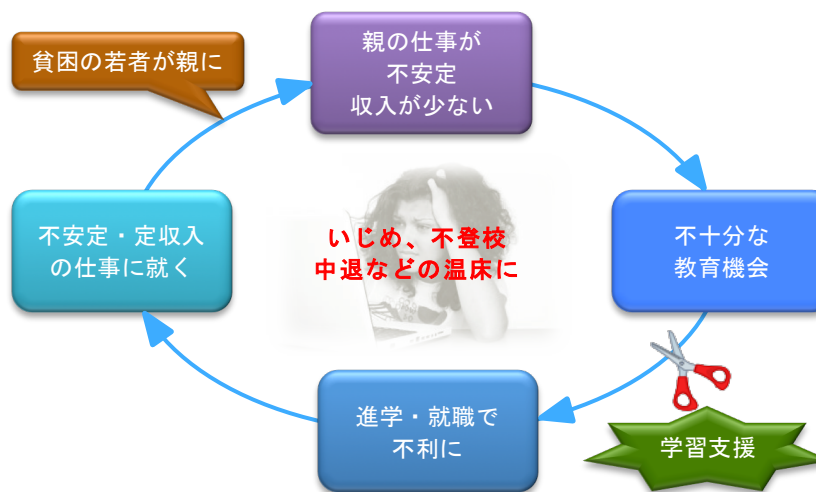


自主学習支援 会 事業のご紹介

自主学習支援会は、家庭の貧困がもたらす子どもたちへの「貧困の連鎖」(右図)を、学習支援という切り口から断ち切るための活動をしています。



大田区が課題の1つとする「子どもの基礎学力の定着支援」というテーマに共に取り組み、子どもたちが人との関わり・学習を通じて、希望を持てる環境づくりを目指しています。

自主学習支援会が行う3つの事業

	学習支援	支援者育成	子ども支援のネットワークづくり
(1) 概要	1時間 500円(ワンコイン)・個別指導教室「ベストキッズ」を運営	「ベストサポーターズ事業」として、地域に根差したサポーターを養成	子どもの貧困課題や子どもを取り巻く課題に関心がある支援者を広く募る
(2)方針	<ul style="list-style-type: none"> ● [徹底的に子どもに寄り添う]ことを主眼に置く ● 教えたり指導したりするのではなく、子どもを支える ● 子どもたちが、自ら進んで、知識、教養、更には力強く生きる力をも身につける過程の手助けをする 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習支援者のみならず、金銭的支援者や、生徒確保・イベント運営に携わる支援者等も含めて募集。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な形で情報発信し、周知活動を行う ● 将来的には行政に提言・協議できるような協会の設立を目指す
(2) 実績 および 今年度 の計画	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月、新たに馬込教室、蒲田西教室を開講 ● 教室には、4月現在34名在籍(中学生26名、小学生8名)うち生保家庭が12名、生保以外の一人親家庭3名 この中で、親または本人が海外出身の生徒が3名 ● 従来の「子ども6人:学習支援者1人」体制から「子ども3人:学習支援者1人」体制に向けて、随時移行中。現在の学習支援者は12名 	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期的に説明会・イベントを実施予定 ● 活動に興味を持った人を現場へ送り込み、他の支援者・スタッフと共により良い支援の形を作り上げていく 	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政・学校関係者・議員・自治体・市民活動団体・町工場、そして大田区民、等々広く呼びかけを行う
(3) 展望 および 課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 成績だけでなく、子ども同士や人の繋がりも重視する。子どものセーフティーネットとなるよう、安心して頼れる関係性作りと本人たちの社会性の育成を目指し、社会見学イベントも行う ● 教室数もニーズに応じて順次増強する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現場(教室)で子どもたちと接しながら、支援者自身が自ら学び取ることを目指す ● 貧困課題や学習支援の先事例などを学び、全員で主体的に理想の支援の形を模索できる体制をつくる(⇒「子ども支援のネットワークづくり」事業へも反映) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育委員会(学校)との連携 ● (仮)おおた学習支援協会の設立 ● 当団体のみならず、区内の他の支援団体・コミュニティも紹介し、大田区の子どもの関わるネットワークの強化をはかる ● 法人化